

Graduation Policy (GP)

記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	理学部
学科・専攻等名	地球圏システム科学科
コース等名	地域環境科学コース, 環境物質科学コース
細分名	
理学部・理工学研究科(理系専攻)の教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
理学部・理工学研究科(理系専攻)のGraduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
地球圏システム科学科の教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養と地球科学分野の基礎知識を習得した人材を育成する。 2. 自然災害や環境保全などの社会が抱えている諸問題に対して, 自立的に対応できる柔軟な思考力をもった人材を育成する。 3. 自分の考えを的確に表現し, 相手に伝えることができる人材を育成する。 	
地球圏システム科学科のGraduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養と地球科学の専門知識を身につける。 2. 専門知識や思考力を養い, 社会に貢献できる能力を習得する。 3. 論理的に物事を考察し, 記述できる能力、プレゼンテーション能力を身につける。 	
地域環境科学コースの教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球の成り立ちや変遷に関する専門知識を有する人材を育成する。 2. 地域地質に関する知識と調査技術をグローバルスタンダードに準拠したレベルで身に付けた、JABEE認定資格にふさわしい学力と見識を身につけた人材を育成する。 3. 自然災害や環境保全などの社会が抱えている諸問題に対して, 学んだ専門知識や技術を基に貢献もしくは自立的に対応できる柔軟な思考力をもった人材を育成する。 	
地域環境科学コースのGraduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球的視点から物事を捉え, 多面的に取り扱う能力とその素養を身につける。 2. 科学技術が地域社会や自然環境に及ぼす影響や効果, および技術者が地域社会において果たすべき役割を理解する。 3. 数学、自然科学および情報処理に関する知識とそれらを応用できる能力を身につける。 4. 地球科学分野の基本的な知識、技術、論理性およびそれらを地域社会の問題解決に応用できる能力を習得する。 5. 地域社会からの要求と問題を解決するため, 種々の調査・分析・解析技術、情報を生かした問題解決の計画をデザインする能力を身につける。 6. 日本語による論理的な記述力、資料作成能力、プレゼンテーション能力、討議などのコミュニケーション能力及び国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける。 7. 地球科学的な現象に強い好奇心をもち, 自主的かつ継続的に知識・情報などを得ることにより問題解決を図ろうとする能力を身につける。 8. 期間や作業環境などが制約された条件の下で, 与えられた課題について, 合理的に作業を進め, これをまとめることのできる能力を身につける 9. 社会貢献のための基礎能力と素養を身につける。 	
環境物質科学コースの教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い理学的知識に加え, 地球に関する全般的な知識と地球を構成する物質に関する専門的な知識を有する人材を育成する。 2. 専門知識を基に, 地域社会の文化や教育へ貢献できる潜在能力を有する人材を育成する。 	
環境物質科学コースのGraduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球の成り立ちや変遷を理解し, 地球を構成する物質や資源物質に関する知識を習得する。 	

2. 地形、地質、岩石、土壌、気象、水理など総合的な地圏システムの成り立ちと相互関係、地圏システムと社会生活との関わりを理解する。
3. 数学、自然科学および情報処理に関する知識とそれらを活用できる能力を身につける。
4. 科学的な探究心や社会からの要求に応じて知識や情報の活用および立案・計画能力を身につける。
5. 日本語や英語による資料読解と作成力およびプレゼンテーションとコミュニケーションの基礎能力を身につける。
6. 社会の文化や教育に貢献のための基礎能力と素養を身につける。